

令和2年度第2回中央区清掃・リサイクル推進協議会 議事録

開催日時 場所	令和2年7月28日(火) 午後1時30分 京橋プラザ区民館 2階多目的ホール
出席者の氏名	<p>○出席委員 朝倉委員、小野田委員、前田委員、岩田委員、興石委員、境委員、佐々木委員、守本委員、川名委員</p> <p>○区側委員 望月委員(環境土木部長)、浅沼委員(企画部長)</p> <p>○欠席委員 立岩委員、村田委員、矢吹委員</p>
	<p>(環境政策課) 三留課長 (環境推進課) 武藤課長 (中央清掃事務所) 石井所長、藤原清掃事業係長、相崎作業係長、有原排出指導係長、清掃事業係榎戸主事、清掃事業係星山主事 (有循環資源・環境ビジョン研究所) 鈴木</p>
配布資料	<p>(事前配布資料)</p> <p>資料1 第1回協議会資料に対する主な意見等 資料2 清掃・リサイクル事業の現状と課題について① 資料3 清掃・リサイクル事業の現状と課題について② 資料4 計画の基本理念・基本方針等について 資料5 中央区一般廃棄物処理基本計画の改定に関する意見書</p> <p>(当日配布資料)</p> <p>資料6 第2回協議会資料に対する主な意見等</p>
議事の概要	<p>1 開 会 2 議 題 (1) 中央区一般廃棄物処理基本計画の改定について (2) その他 3 閉 会</p>
議事の経過	別紙のとおり

協議会の経過

1 開会

事務局（中央清掃事務所 藤原清掃事業係長）より、開会のあいさつを行った。

- ・異動があった委員の紹介
- ・事務局紹介

2 座長挨拶

3 議題

(1) 中央区一般廃棄物処理基本計画の改定について

○座長

資料1の14にあるとおり、新型コロナウイルス感染症の影響も今回の計画改定に反映させるということでよいか。

●区

その方向で検討していく。

○座長

資料2および3が今回の計画改定のたたき台という理解でよいか。

●区

そう考えている。

○座長代理

資料6の11にある古紙市況の低迷により、集団回収が滞った場合、区収集への切り替えにより対応するとあるが、区で収集した後の対応は。

●区

区収集による古紙のリサイクルルートに乗せて資源化していく。

○座長代理

現在、古布の拠点回収を休止しているが、今後の見通しや対応をどう考えているのか。

●区

新型コロナウイルス感染症の状況、また海外の再処理工場が輸入できる状況、そういった市況の状況がいつ改善されるかは、不透明なところがある。休止が長期になる場合には再度、対応を検討したい。

○小野田座長代理

回収した古布を清掃工場で焼却している自治体もあり、焼却炉が破損したとのことだが、家庭で溜めておくのも限界があると思うので、その先を見据えて検討した方が良いと思う。

●区

資源として回収したものを、焼却することは考えていない。焼却する場合は、燃えるごみとして回収することも検討していく必要があると考えている。

○委員

昨年度の協議会において報告したとおり、古紙市況の低迷により集団の回収業者が撤退してしまい、古紙の回収ができなくなってしまった自治体もあり、回収業者への助成金を引き上げた自治体もある。区としては、回収業者への助成を検討しているのか。

●区

区内で、集団回収をやめた回収業者の件数は少なく、現在は考えていないが、状況の変化に応じた検討は必要と考えている。

○座長

資料 2 と現行の計画を見比べると、例えば最終処分場の記載内容が簡略されている。何か意図はあるのか。

●区

資料 2 は計画改定のたたき台ということで、今回、計画に新たに加えたい内容や課題を強調している。今後、計画全体の素案を作成し、次回委員会で提示したいと考えている。

○座長代理

現在、国でプラスチック製容器包装の回収にプラスチック製品の回収も加え、一括して回収しようという話が出てきているが、区としてどう考えているのか。

●区

プラスチック製品を資源として回収するようになれば、ごみ減量が促進されると考えているが、中間処理を行う際の手間や費用負担等整理する課題も多く、国等の動向を見据えて検討していきたい。

○座長代理

最近、ごみ・資源に混入した二次電池による、回収や中間処理の際の火災が問題となっ

ている。今回の計画改定には二次電池の火災対策についても考慮してもらいたい。

●区

今改定計画での対応を検討する。

○座長

資料 3 の「目標実現に向けての取り組みの実施状況について」を見ると、現行計画では定性的な表現が多い。東京 2020 オリンピック・パラリンピックや新型コロナウイルス感染症の拡大など現状に即したごみ出しの在り方なども含めて、今回の計画改定では重点施策の進捗評価が定量的にできるよう考えて欲しい。

●区

数値目標については、検討する。新型コロナウイルス感染症の拡大など現状に応じたこちらの廃棄物の適正排出、適正処理の区民への周知も含め、計画への反映を検討する。

○座長代理

資料 4 の基本方針 1 で「使い捨てプラスチック類の削減」とあるが、一方で新型コロナウイルス感染症対策としてフェースシールドなどプラスチックを再評価する話も出ている。感染対策を考えると、プラスチック類の発生量は増加してしまうので、そうした変化もあるので、より発生抑制が重要になってきたということを入れた方がよい。

また、基本方針 3 においては清潔や衛生が強調されているが、新型コロナウイルス感染症の拡大が問題となっている中、非接触のごみ収集を検討するなど、より衛生的なごみ収集の在り方を考えていくきっかけにしていかななくてはいけないのではないかと考えている。

○委員

ごみ収集の際、カラス対策として防鳥ネットを貸し出しているが、清潔感や景観の観点から問題もある。また、事業系のごみ排出には有料ごみ処理券が必要となるが、ごみ袋の料金にごみ処理量を含んでいる自治体もあり、券を貼るより手間にならないのではないか。

●区

防鳥ネットについては、ごみの収集日の前日などにごみを出してしまうとネズミやカラスなどの被害が出る原因にもなるので、収集前の短い時間でのごみ出しを区民に周知している。ネットは、その集積所を管理されている方にごみ収集の前後でその出し入れをお願いしており、景観も含め周知を進めていきたい。

また、さまざまな袋でごみが排出されており、それができなくなると混乱もきたすの

で、収集料金を含めた指定ごみ袋による回収は考えていない。

○座長代理

人口や事業が多いところで、収集方法を変えるのは、ハードルが高いのが現実である。非接触でのごみ収集を考えると、ボックス型に移行していくと思うが、そうになると、今までの集積所より遠くに持っていかなければならない。それで利便性が低下するという問題もあり、難しい問題だ。

○委員

了解した。

4 閉会

事務局（中央清掃事務所 藤原清掃事業係長）より次回（第3回）の清掃・リサイクル推進協議会の開催予定を報告した。

午後15時15分閉会